



愛知学泉大学・愛知学泉短期大学



「生活と文化」講座

愛知学泉大学・愛知学泉短期大学には、さまざまな専門分野に精通している教員が在籍しています。そこで、地域の皆様に日々の生活や身近にある文化の再発見、暮らしを豊かにするきっかけとして、教員による公開講座を開催させていただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

講座の内容は裏面をご覧ください

回	開催日	内 容 ・ 講 師
1	2/26 (火)	愛知学泉短期大学 生活デザイン総合学科 千賀 敬之 准教授 「必見！ 江戸の妖怪たち」
2	2/27 (水)	愛知学泉大学 家政学部 家政学専攻 山田 陽平 講師 「私の頭の外の記憶」
3	2/28 (木)	愛知学泉大学 家政学部 こどもの生活専攻 前田 治 教授 「今、子どもに必要な心育て」
4	3/1 (金)	愛知学泉短期大学 幼児教育学科 服部 壮一郎 講師 「みんなで描こう！ 子どもたちの未来」

【開催時間】 10:00～11:30

【会 場】 愛知学泉大学・短期大学（岡崎市舳越町上川成28）

【受講費】 無料

【申し込み】 愛知学泉大学・愛知学泉短期大学事務局（永井）まで

TEL: 0564-34-1212 FAX: 0564-34-1270

E-mail: chienaga@gaksuen.ac.jp

● FAX、E-mail でのご連絡の方は、郵便番号、住所、名前、電話番号をご記入の上、受講される日をご記入ください。

住所 〒 _____

氏名 _____

電話番号 _____

受講日（複数回でも結構です） _____

各講座詳細¹ 講座のみの受講も歓迎です。お誘いあわせのうえご参加ください。

回	開催日	内 容 ・ 講 師
1	2/26 (火)	<p>愛知学泉短期大学 生活デザイン総合学科 千賀 敬之 准教授</p> <p>「必見！ 江戸の妖怪たち」</p> <p>ご当地おなじみの化け猫の浮世絵から、江戸中期に空前の妖怪ブームを巻き起こし、ゲゲゲの鬼太郎の妖怪のモデルがたくさん登場する鳥山石燕（喜多川歌麿の先生）の妖怪絵本、更に多くの画師が競って描いたカラー版妖怪絵巻、果ては妖怪双六まで、さまざまな妖怪世界を楽しめます。</p> <p>遊び方の実演もあります。乞うご期待 !! 妖怪双六のおみやげあり！</p>
2	2/27 (水)	<p>愛知学泉大学 家政学部 家政学専攻 山田 陽平 講師</p> <p>「私の頭の外の記憶」</p> <p>私は自分の記憶力に自信がありません。口約束だとすっかり忘れてしまいます。しかし、私の頭の中の記憶からは無くなっても、付箋やスマートフォンにメモしておくので、それらが教えてくれます。メモするという行為は当たり前のことですが、あらためて考えてみると、それは私の頭の外にある私の記憶なのです。私たち人間は、道具を作って利用することで文化や文明を発展させてきました。道具が私たちを賢くしてくれていることを知れば、もっと道具を使いたくなります。</p>
3	2/28 (木)	<p>愛知学泉大学 家政学部 こどもの生活専攻 前田 治 教授</p> <p>「今、子どもに必要な心育て」</p> <p>大きな木があります。幹や葉が空に向かって伸びています。その木を支えているのはしっかりした根です。行動が幹や葉の見える部分だとすると、心は見えていない根になります。心は、生きていく上でとても大切です。でも「心って何？」と言われると、分からなくなってきました。その心を少しでも理解するために、皆さんと一緒に、動画や読み物を通して心の中をのぞいてみましょう。…また、“色を通してあなたの心も見ます”何か違う自分を発見できるかもしれません！・・・</p>
4	3/1 (金)	<p>愛知学泉短期大学 幼児教育学科 服部壮一郎 講師</p> <p>「みんなで描こう！ 子どもたちの未来」</p> <p>平成も幕を閉じる 2019 年、私たち大人はどのような社会を子どもたちに残そうとしているのでしょうか？東京五輪や大阪万博など明るい話題がある一方で、待機児童や不登校児の増加など、子どもを取り巻く環境に問題がないとは言えないようです。この講座では、私も参加している生活困窮世帯の子ども「学習支援」などの活動を紹介しながら、地域の人々と子どもたちとで創るこれからの社会について、一緒に考えてみたいと思います。</p>